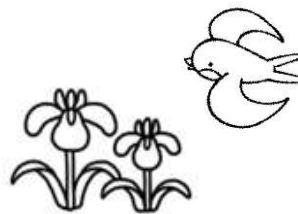




えがお通信



2023年度 5月号

社会福祉法人 尚徳福祉会
おぐら保育園 園長 酒井和子

お日様がポカポカと暖かく昼間は汗ばむ日も多くなってきました。
入園・進級したころは、不安気な表情も見られましたが、少しずつ緊張も取れ
元気に園庭で楽しそうに追いかけてっこや遊具で身体を動かして遊んでいます。
異年齢の子どもたちにも声をかけて「〇〇してあそぼうよ」などと関わる姿も
増えてきました。

この時期は環境が変わって疲れが出ることもあり、体調を崩しやすいときです。
子どもは、まだ体調不良を自分で伝えることができないため、周りの大人が小さな
変化に気づくことが大切です。朝、機嫌が悪い、ご飯をあまり食べないなどいつも
と違う様子が見られましたら登園時にお知らせください。園でも無理なく過ごせる
ようにしていきたいと思います。



5月の行事

12日（金）避難訓練

16日（火）えいごで遊ぼう

24日（水）移動動物園

26日（金）不審者訓練

29日（月）幼児誕生会

30日（火）乳児誕生会・えいごで遊ぼう





乳児クラス



園での生活にも慣れてきて、子どもたちの笑顔も増えて、保育室や園庭からは、にぎやかな笑い声も聞こえてきます。



幼児クラス



色々な形や色のこいのぼりが部屋中を泳いでいます。自分の作ったこいのぼりを指さしお部屋に来る職員に嬉しそうに教えてくれています。

【クラス懇談会】

お忙しい中、乳児クラス、幼児クラスのクラス懇談会に沢山お集まりいただきましてありがとうございました。各クラスから、和やかな雰囲気伝わってきました。

改めまして、1年間よろしくお祈いします。なお今年度は、2歳、3歳、4歳の保護者の方がつくしの会の役員となりました。

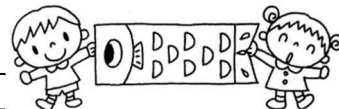
【移動動物園】

今年も5月24日（水）に、移動動物園を行います。（つくしの会主催）当日を楽しみにしている子どもの顔が目に見えます。後日お知らせいたします。



【こどもの日の由来は】

こどもの日は、昔は男の子のお祝いの日でしたが、今では男女関係なく、こどもの成長をお祝いする行事となりました。昔は「端午の節句」「菖蒲の節句」と呼ばれ、武士の時代になると菖蒲を「尚武」「勝負」と関連づけて、子どもの出世や健康を願う行事になったようです。親が子どもの成長を願う気持ちは、昔も今も同じなのですね。



【ほめ方・しかり方】

子どもの「ほめ方・しかり方」は難しいことです。厳しくしかりすぎると子どもは心を閉ざし、自尊心が持てなくなります。最近「しかるより褒めよ」と言われています。

「〇〇ができるようになったね。お母さんも嬉しいよ」というように事実を認め、それに対して感じた気持ちを伝えることが大事なのです。この安心感が自尊感情を育てるうえでとても大事なのです。



【健康】

成長が著しい子どもたちですが、服や靴が子どもたちの体に合っているか今一度見直してみてください。小さすぎる服は動きを妨げますし、大きすぎる服は遊具にはさまる、引っかかるなど、思いがけない事故のもとになります。靴も足にぴったり合っていないと靴ずれになったり転びやすくなったりしますので、靴のサイズも確認しましょう。